



第25回 ファミリーヨットレース



楽しんでますか～！(UMADORI VI)

第25回ファミリーヨットレース

4分の1世紀の歴史を重ねたこのレース、今回のエントリーは30艇。4年前の60艇を考えると、やや淋しい。不況にも負けずに参加した艇を称えるべきか。段々と天候が回復してきた1000, 3クラス30艇が一斉にスタートを切る。風はE3メートル、潮は1100が干潮の底で長潮。コースは樽井の岸寄りを第1マークとする正三角形を4レグ走るロングコース。時々青空がのぞきだして、風はN2メートルに変わる。左海面に向かった艇に有利に働くか。第1マーク付近では潮に流されて2艇がマークを引っ掛けてしまったが、そのうちの1艇のトライボンド(親子2人で参加)は親父さんと協力したご子息(中1)は活躍により脱出に成功し、目撃したジュリーボートの一同を感心させた(ジュリーボートの推薦により表彰された)。Cクラスは3レグにコース短縮。1500タイムリミットでDNF2艇が出たが、無事レース終了。わが淡輪勢は13艇が出場、Aクラスで海燕が、Bクラスでヒートウエーブが優勝をを果たし、ホストクラブの面目を保った。また、表彰式では汐風の吉田艇長がジャンケンで勝ち抜き、沖縄旅行切符を手に入れた。

レースに先立って行われた1日の前夜祭、早々と15時頃にはクラブ特設テントで氷屋さんが店開き。屋台のたこ焼き屋、フランクフルト、焼きそば屋さんなども香ばしい匂いを漂わせ始め、お祭り気分が盛り上がってくる。燃えた太陽も西に傾く頃、階段席に人が集まり始め、デキシールランドジャズ・クワ

レットの軽快な音楽が流れ出す。ジャズと花火目当ての地元の人も加わって、階段席は人、人でいっぱいとなる。アルコールも廻り、踊り出す人も出る20,30待ちに待った花火の炸裂。ローカルな花火大会と侮るなかれ、空を覆う大輪の連発で喚声があがりっ放し。(コガさん、大分サービシしてるで・・・の陰の声)21を過ぎても宴は収まらず、遅くまで夏の夜を楽しんだ。(吉田 記)



各クラス優勝艇代表者

左からAクラス優勝「海燕」、Bクラス優勝「HEAT WAVE」、Cクラス優勝「Wing」

Bクラス優勝

ヒートウエーブ 大谷 憲作

やる事なす事うまく事が運び、成績表を酒の肴に一週間飲みました。

勝因は三つあります。まずは準備で船に不具合はないか、セイルにダメージがないかをチェックできたこと。ちなみに今回はセイルの修理をし、かなりパワーが出ました。次に状況判断で、レースコース、海面の風、潮流、他艇の動き走り等予測し、それに応じて船を走らせる。ちなみに今回のレースは潮流を予測した走り、他艇の動きがよく見れました。三つ目は焦らず落ち着いた行動。クルーザーレースは艇の大きさ、速さはまちまち。自艇の速度が今の状況に合った走りをしているのかを、出来るだけ早く感じ取り、落ち着いてテルテールを見、舵を切り過ぎない。タック、ジャイブのない単調なレグではごまかしは効かず、水線長の長い艇が本領を発揮できる時。抜かれても焦らず、落ち着いて自艇のベストな状況を見つけ出す。今回これらのことが出来たのが良かったかな？！

今でこそファミリーレースの艇数は少なくなったけど、なかなか優勝できるレースではなかったので“ほんまうれしい～”



左上:Aクラス優勝「海燕」

右上:Bクラス優勝

「HEAT WAVE」

左:Cクラス優勝「Wing」



前夜祭でのバンドの演奏

前夜祭は大盛況でした



Tri-Bond クルー 那須誉之

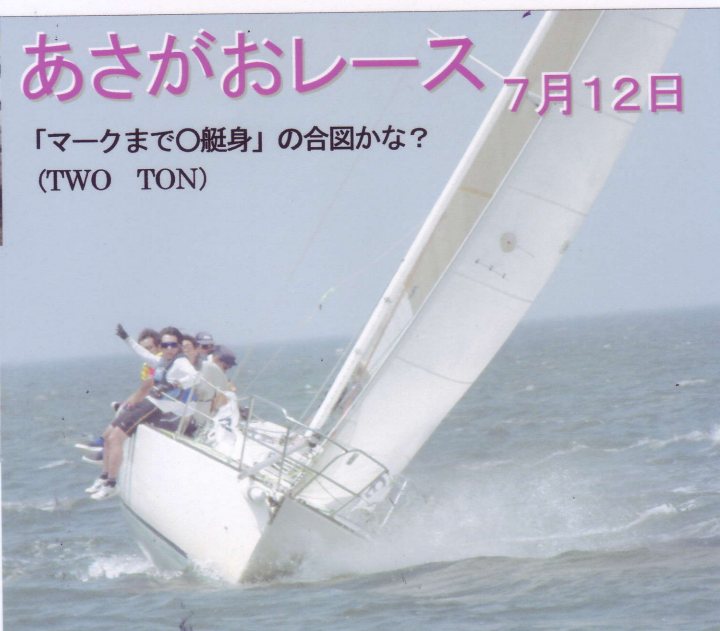
初めてレースに出て1年目で今年はお頑張ろうと思っていましたが今年はお兄ちゃんが出られなく2人で少し不安でした。スタート後は大きな問題はありませんでした。最初のマークで引っ掛かり大きく遅れてばん回は無理と思いましたが頑張ってフィニッシュしようと思えました。しかし、風が途中から弱くなりフィニッシュ直前でタイムリミットになってしまい悔しかったです。成績は悪かったです。特別賞をいただき次回レースは頑張ろうと思います。



見事な処置により難を脱したトライボンド

あさがおレース 7月12日

「マークまで〇艇身」の合図かな？
(TWO TON)



微風のレースになるなど思っていたら、南からいい風が吹いてきて迫力のあるレースになりました。今回は各艇のすばらしい走りをお見せするため写真中心に掲載します。

あさがおレースレポート「もうぶんぶんはいやっ！」

響@間下 和美

こんな日に限って少人数2.5人(0.5は私です) どうせ吹くなら、もっと人数の多いときにしてよね。大きいジブは大排気量エンジンと信じるスキッパーはNo.3を張ろうという私にブー。でもしだいに吹き上がりハルでヒールするこの風と人数に初めて使ったNo.3はピッタリ。最初、青くなっていた私も終わる頃には楽しかったアサガオレースでした。

ふぁみい〜れ〜すこほれ話 まあくたっち ジョイちゃんの巻 名譽のため船名が消しておきます



あほ〜!

マークに引っかかってしまったジョイちゃん

やっても〜た!



あいつら何やっているんだ

近づかんとこ

後続艇に白い目で見られるジョイちゃん



責任を感じたのか、海に入ってジョイちゃんに引っかかったマークを必死で外そうとしているマー氏



他のクルーはしらんぷい

永久保存版!
マー氏のセクシー姿
(●^●)ポッ!
お疲れ様でした

やっと外れた

参加
これに懲りず来年も笑わしてね〜!



激しくスプレーを噴き上げる YAJIROBEY
強風のためかジブセールが絡まっている

うねりを切り裂く IRC 優勝の EMI (左) オープンクラス
優勝の TWO TON (第2レーススタート時)



豪快な走りを見せてくれたチビズル



同じく豪快な走りを見せてくれた海燕2



スプレーをあげるFAIRY-4

あさがおレース成績表

クラス	艇種	艇名	得点	総合
IRC	EMI	Mumu36	2	1
IRC	Mowe	Y-30SN	4	2
IRC	チビズル	SEAM31	6	3
OA	TWOTON	J92j	2	1
OA	海燕II	X-99	7	2
OA	YAJIROBEY	FS-32	8	3
OA	HeatWave	Farr-25PL	8	4
OA	FAIRY-4	J-24	8	5
OA	響	Y262T	9	6

ファミリーヨットレース成績表

(クラブ所属艇のみ抜粋)

クラス	艇種	艇名	順位
A	海燕II	X-99	1
A	チビズル	SEAM31	3
A	Mowe	Y-30SN	4
A	TWOTON	J92j	5
B	HeatWave	P-25	1
B	汐風	J-24	4
B	YAJIROBAY	Fs-32	6
B	Joy Ride II	ヤマハ30S II	9
B	トライボンド	ヤマハ30S II	DNF
C	グラシヤス	Fs-28	2
C	TOTORO	ヤマハ 23 II EX	3
C	フオワード	ピーピート 30	9
C	DOMINGO III	アルバトロッサ 26	DNF

第3回ディンギーレース成績表

選手名	艇種	時間	順位
佐野	シーホッパー	14:06:44	1
細谷	レーザ	14:10:23	2
四ヶ所	シーホッパー	14:12:05	3
小寺	レーザ	14:13:22	4
長尾	シーホッパー	DNC	5
廣田	シーホッパー	DNC	5
伊東村上	シカーラ	DNC	5

お詫び

先日郵送した会員名簿に訂正があります
追加 正会員 竹田 善彦 艇名 Forward
その他の項目については次回連絡便郵送時にあわせて送付します。
急ぎの場合はヨットクラブにお問い合わせ願います。

第3回ディングーレース



強風のため沈した2艇

常勝古谷選手が国体予選出場
で欠場。鬼のいぬ間に誰がトッ
プの座を射止めるか、皆われこ
そはと熱は上がり、予報どおり
の荒れ模様で、慎重なレース委
員長の心を揺り動かし、6艇は
8mの南風を受けてスプレーを
上げながらレース海面へ向かう。

しかし沖は思ったよりブロー
が強く、あちらでチン、こちら
でチンで、スタートラインへ揃
うのもままならず、全艇ハーバ
ーへ帰れの通報が出された。

おいしい昼飯をたらふく飲食し、ほっとしている14時頃、
風が徐々に落ち、このレースのため、わざわざ東京から帰っ
てきた選手の気持ちも考えて、1レースだけでもやろうというこ
とになった。

レースはDNC 2艇を除く4艇でスタート。風は落ちたとはい
いえ、ブローを交えた南西の風7m、体力勝負となり、若さと
腕に勝る佐野 Jr. が終始リードして、勝利を手にした。



フルハイクでもこの有様
この後全艇ハーバーバック
(細谷選手)



午後再びレースに臨んだ4艇

第3回 プチクル 7月5日

今日のプチクルー
ジングの担当はルカ
ーとゼロ。行き先は、
津名港に決定し、参
加艇は6艇28名。昼
食は、高級牛肉料理
「あり亭」。安くて美
味しいお肉が食べら
れます。天気は梅雨
の中休み・・・？の、は
ず。だったんですが、
なにやら怪しくなりそ
うです。

淡輪沖合には、練
習帆船「日本丸」と
「海王丸」「銀河丸」が
仮停泊中で、近づい
てみることにします。

ちなみに、日本丸と
海王丸の違いは、「日
本丸II世」の船首像は

手を合わせて祈る女性の姿をしており、「藍青(らんじょう)」と
名付けられている。「海王丸II世」の船首像は横笛を吹く女
性で、「紺青」と名付けられている。」だ、そうです。

1200pm. 予定通り、昼食場所「有井艇」に全員集合。奥
のお座敷へ案内され、ふすまを取っ払い、変形ですが大広
間に変身。とりあず、ビールや！！乾杯！！団体だったので、
店員のお姉ちゃんも大混乱。ここは淡路島ですから、何
もかもスロ〜ペースです。決して最高のサービスを求めては
いけません。いつもこんな感じです。あせらず、ゆっくり待ち
ましょう〜！お酒の飲めないグループはコーラだらけ。でも
このお店ではソフトドリンクは全て¥100なのだ。生ビール
は¥350。とにかく安い！

1430. 全艇、帰港します。西の風が4〜6mくらい感じで吹
いてきました。グッドセーリング！！

1730 心配していた雨も降らず、無事に帰港。

ヨットハウスでハワイアンイベントがあり、大変賑やかで
した。



練習船に近づくゼロ。美しい帆船です



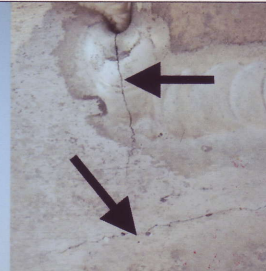
肉が焼けるのが待ちきれないプチク
ルメンバー

トキマタ、アラスカ向け出航

5月29日に一週間滞在の予定で淡輪に寄港
していたNZ艇、トキマタは、その後マストトッ
プに亀裂が生じている事が判明、結局淡輪で溶接
する事になり、6月15日、シャークスの佐藤さ
ん父子によって、完璧に修理が行われた。

その後キャプテンの一時帰国の間、クルーだけ
で大阪湾内の各地を訪れ、5名全員が揃った7月
10日淡輪を出航、徳島ケンチョピア向け出航、
森野さんのお世話になり出国手続きなど済ませ、
7月15日、皆さんに感謝の言葉を残し、アラス
カ向け出航した。

クレーンでマストを抜く



左: マストの亀裂。航
海の厳しさが想像で
きます。

下: トキマタのメンバ
ー。航海の安全を祈
ります。

